

音声デマルチプレックス機能付き D/A コンバーターモジュール

**DAC-70A-A**  
**DIGITAL to ANALOG**  
**CONVERTER**

**取扱説明書**

**必ずお読みください！**

**ビデオトロン株式会社**

## この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等からませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

### 2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音が出た場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

### 3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

### 4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行くと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

## 5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
  - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
  - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
  - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
  - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
  - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



## 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

### 2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

### 3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
- マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
  - ・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
  - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
  - ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。  
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。  
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

\*\*上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先………ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL	042-666-6329
FAX	042-666-6330
受付時間	8:30~17:00
E-Mail	<a href="mailto:cs@videotron.co.jp">cs@videotron.co.jp</a>

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042-666-6311
緊急時 **	090-3230-3507
受付時間	9:00~17:00

\*\*携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目 次 .....

<b>1. 概 説</b> .....	<b>1</b>
《特 長》.....	1
<b>2. 機能チェックと筐体への取り付け</b> .....	<b>1</b>
1. 構 成.....	1
2. 筐体への取り付け.....	1
3. オーディオケーブルの取り付け方.....	2
4. POWER ON までの手順.....	2
5. 基本動作チェック.....	3
<b>3. 各部の名称と働き</b> .....	<b>4</b>
1. 本体.....	4
2. 背面.....	6
<b>4. 操作方法</b> .....	<b>7</b>
1. 基本操作.....	7
2. メニューツリー.....	8
3. メニュー一覧.....	9
<b>5. 外部インターフェース</b> .....	<b>15</b>
AUDIO 出力端子.....	15
<b>6. トラブルシューティング</b> .....	<b>16</b>
<b>7. 仕 様</b> .....	<b>18</b>
1. 定格.....	18
2. 性能.....	18
3. 機能.....	19
<b>8. ブロック図</b> .....	<b>20</b>

## 1. 概説

DAC-70A-AはSD-SDI信号をアナログ信号へ変換するD/Aコンバーターモジュールで、同時にSDIのエンベデッドオーディオ信号をアナログ信号へ変換することができます。エンベデッドオーディオ信号は20bit 48kHzのフォーマットに対応し、任意の4chをモニターできます。実装筐体を選ぶことで単体から10モジュールまでシステムに合わせた対応ができます。

### 《特長》

- ・D1ラインに本機を挿入し、アナログで映像と音声を確認
- ・エンベデッドオーディオは20bit 48kHzに対応しアナログ4chをモニター可能
- ・オーディオ出力の3.4CH出力へ1.2CH音声を切り替えて出力
- ・出力映像に英数字のキャラクターを6文字までスーパーすることが可能
- ・REF信号を、内部バス経由で同一筐体内の他のモジュールへ分配することが可能 ※1
- ・70シリーズ筐体を使用しVbus-70Bで10chまで、Vbus-74Bでは4chまで、Vbus-71Bで1chを実装

※1 同一筐体内に、他のコントローラー系モジュール(TLG-70C、VT-70C、及びSHC-70HD、FS-70HD/SD等のリファレンス信号分配機能を使用した時)が存在する場合はこの機能使用できません。同期をマスターに設定できるモジュールは筐体内に1モジュールだけです。

## 2. 機能チェックと筐体への取り付け

### 1. 構成

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	メインモジュール	DAC-70A-A	1	
2	コネクタモジュール		1	
3	オーディオコネクタ	MC1.5/6-STF-3.5	2	コネクタモジュールに取り付けてあります
4	取扱説明書		1	

表 2-1 構成

### 2. 筐体への取り付け

ご使用の際は、メインモジュール及びコネクタモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbus-70Bシリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」を参照してください。

### 3. オーディオケーブルの取り付け方

音声信号の接続は先バラの平衡ケーブルを使用します。

出荷時コネクタモジュールに取り付けてあるターミナルブロックの両端のネジをマイナスドライバーで緩め、ターミナルブロックを引き抜きます。引き抜いたターミナルブロックに図1のように先バラのオーディオケーブルを挿入し、ターミナルブロックの側面にあるネジをマイナスドライバーで締め、ケーブルを固定させます。

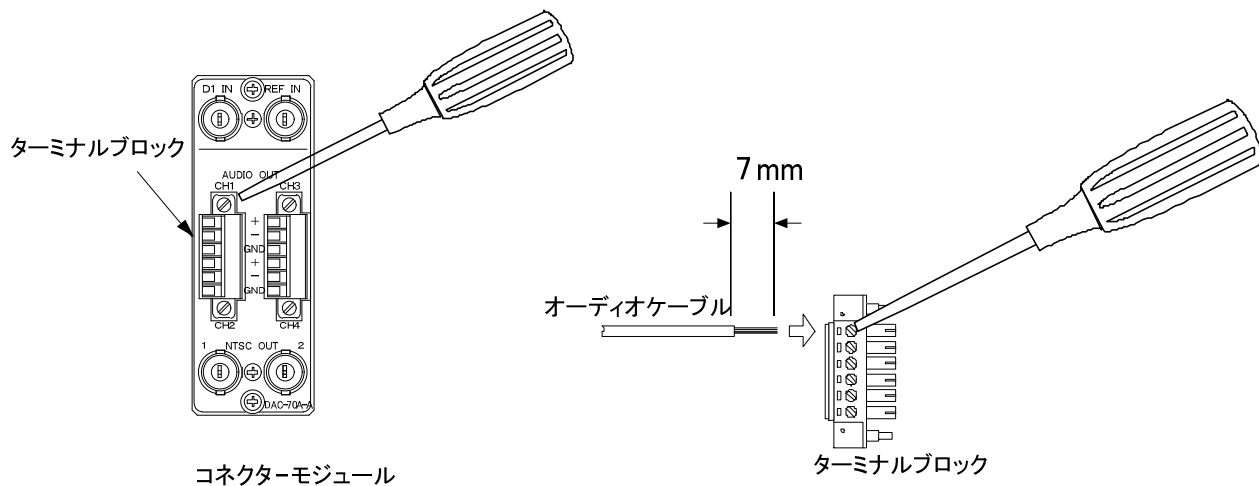


図2-1 オーディオケーブルの取り付け方

### 4. POWER ON までの手順

- (1)メインモジュール及びコネクタモジュールを筐体へ正しくセットします。
- (2)筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3) D1 INにエンベデッドオーディオ信号が付加されているSD-SDI信号、REF INにBBS信号をそれぞれ入力します。
- (4)NTSC OUTからの出力をアナログモニターに接続します。
- (5)AUDIO OUTのCH1とCH2をアンプ内蔵のスピーカーへ接続します。
- (6)筐体の電源スイッチを投入すると、筐体のパワーランプ及びメインモジュールのD1 INとEXT REFが点灯します。

## 5. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は「6. トラブルシューティング」を参照してください。

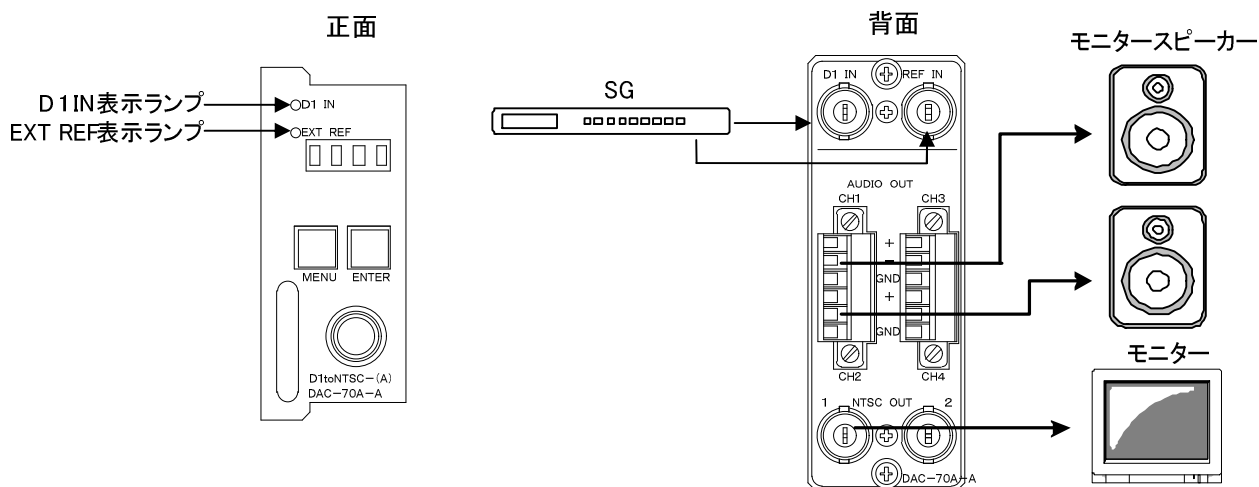


図2-2 基本動作チェック

- (1) シグナルジェネレーターの映像信号出力を背面のD1 INに、BBS出力を背面のREF INに接続します。  
シグナルジェネレーターはエンベデッドオーディオに対応したSD-SDI信号出力を持つものを使用してください。
- (2) 背面のNTSC OUT1をアナログモニターに接続します。
- (3) 背面のCH1、CH2をアンプ内蔵のモニタースピーカーへ接続します。  
アンプ内蔵のモニタースピーカーが無い場合はオーディオアンプを通してスピーカーへ接続してください。
- (4) 電源を投入し、モニターから映像信号、モニタースピーカーから音声が出力されていることを確認します。



### 3. 各部の名称と働き

#### 1. 本体

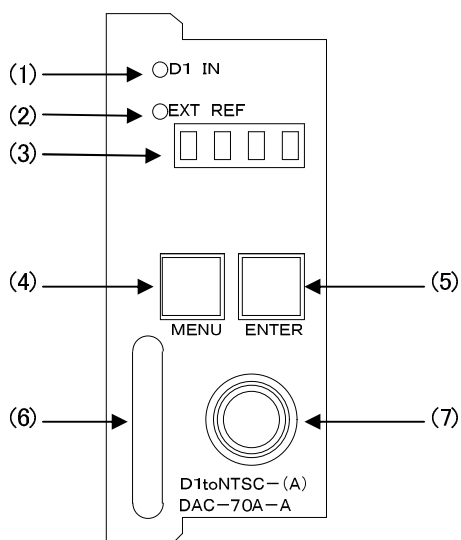


図3-1 本体前面

#### (1)D1 IN ランプ

ランプの状態は下のようになります。

ランプの状態	リファレンス選択モード (REFERENCE)	内 容
緑点灯	-	D1INIにSD-SDI信号が入力されている。
橙点灯	LINE DIRECT LINE MASTER	D1INIにSD-SDI信号が入力されていて、それをリファレンス信号としているがロックしていない。
消灯	-	D1INIにSD-SDI信号が入力されていない。

#### (2)EXT REF ランプ

ランプの状態は下のようになります。

ランプの状態	リファレンス選択モード (REFERENCE)	内 容
緑点灯	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としてロックしている。
	EXT SUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信し、ロックしている。
橙点灯	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としているがロックしていない。
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信しているが、ロックしていない。
橙点滅	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていない。
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信していない。

### (3)表示器

MENUボタンがONのときに、各種設定メニューを表示します。

### (4)MENUボタン

各種設定を行うときに、メニューモードに切り替えます。

### (5)ENTERボタン

各種設定を行うときに、決定します。

### (6)取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

### (7)選択ツマミ

各種設定を行うときに、ツマミを回して選択します。

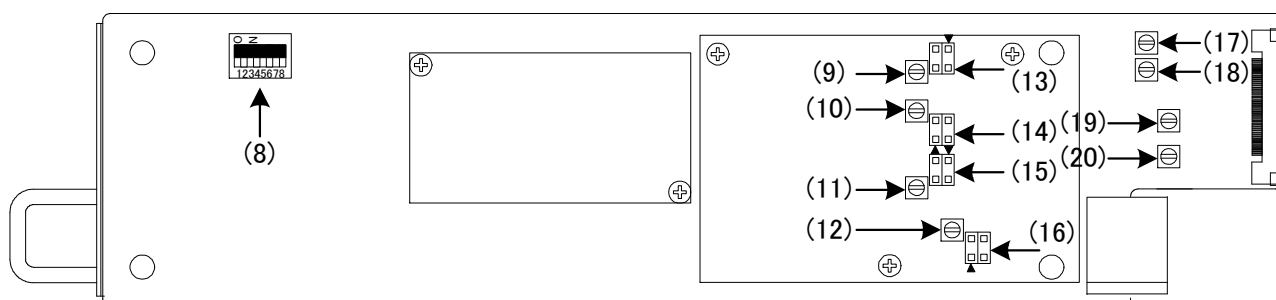


図3-2 本体モジュール

### (8)SW2:設定

1番をONにするとオンスクリーンメニューを表示しません。

2番をONにするとオプションブランキングのデータを一掃出力します。

### (9)VR1:オーディオ1チャンネルレベル調整

アナログオーディオ出力1チャンネルのレベル調整用ボリュームです。出荷時調整済みです。※3

### (10)VR2:オーディオ2チャンネルレベル調整

アナログオーディオ出力2チャンネルのレベル調整用ボリュームです。出荷時調整済みです。※3

### (11)VR3:オーディオ3チャンネルレベル調整

アナログオーディオ出力3チャンネルのレベル調整用ボリュームです。出荷時調整済みです。※3

### (12)VR4:オーディオ4チャンネルレベル調整

アナログオーディオ出力4チャンネルのレベル調整用ボリュームです。出荷時調整済みです。※3

### (13)JP1:オーディオ1チャンネル標準動作レベル選択※1

1,2番をジャンパーピンでショートすると“+0dBモード”※2

3,4番をジャンパーピンでショートすると“+4dBモード”

### (14)JP2:オーディオ2チャンネル標準動作レベル選択※1

1,2番をジャンパーピンでショートすると“+0dBモード”※2

3,4番をジャンパーピンでショートすると“+4dBモード”

### (15)JP3:オーディオ3チャンネル標準動作レベル選択※1

1,2番をジャンパーピンでショートすると“+0dBモード”※2

3,4番をジャンパーピンでショートすると“+4dBモード”

(16) JP4: オーディオ 4 チャンネル標準動作レベル選択※1

1,2 番をジャンパーピンでショートすると“+0dB モード”※2

3,4 番をジャンパーピンでショートすると“+4dB モード”

(17) VR5: NTSC1 レベル調整

映像アナログ出力 1 のレベル調整用ボリュームです。出荷時調整済みです。※3

(18) VR6: NTSC2 レベル調整

映像アナログ出力 2 のレベル調整用ボリュームです。出荷時調整済みです。※3

(19) VR7: 未使用

未使用のため設定を変更しても影響はありません。

(20) VR8: 未使用

未使用のため設定を変更しても影響はありません。

※1 出荷時設定は“+4dB モード”です。

※2 ▼の印が 1 番ピンの印です。

※3 この設定は動かさないようお願いします。

## 2. 背面

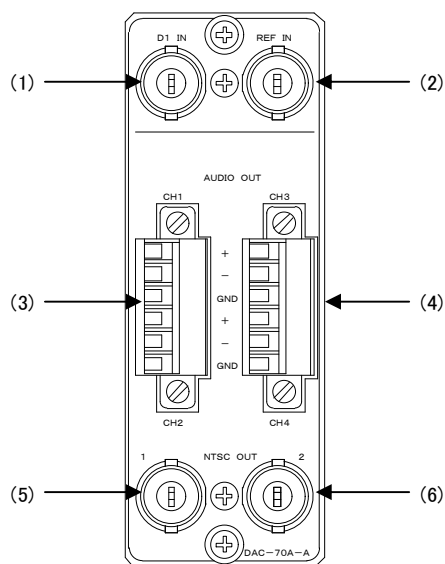


図3-3 背面

(1) D1 IN

SD-SDI信号を入れます。※1

(2) REF IN

REF信号を入れます。※1

(3) AUDIO OUT CH1、CH2

上から CH1+, CH1-, GND, CH2+, CH2-, GND が出力されます。

(4) AUDIO OUT CH3、CH4

上から CH3+, CH3-, GND, CH4+, CH4-, GND が出力されます。

(5) NTSC OUT1

アナログ映像信号を出力します。

(6)NTSC OUT2

アナログ映像信号を出力します。

※1 D1 信号とリファレンス信号は同期しているものを使用してください。

## 4. 操作方法

### 1. 基本操作

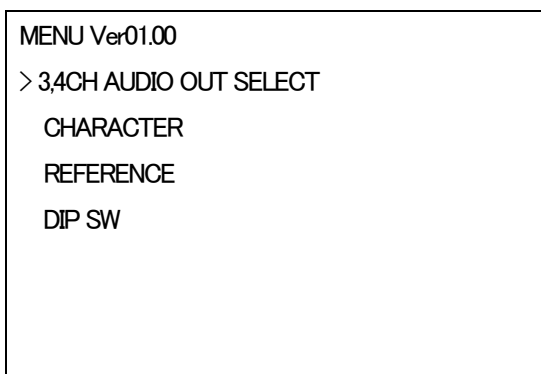


図4-1 オンスクリーンメニュー(メインメニュー)

(1)モジュール正面のMENUボタンを押すことで、表示器がメニューモードになりメインメニューが表示されます。

なお、この時2秒以上MENUボタンを押し続けると、オンスクリーン表示されます。表示器には、カーソル(>)で選択されている項目が略して表示されます。(P-8「2メニューツリー」を参照してください)

(2)カーソルが左の項にある状態でツマミを回し、設定メニューを選択します。

(3)ENTERボタンを押すと設定項目メニューに移動し、ツマミを回して設定項目を選択します。

(4)ENTERボタンを押すと設定項目メニュー階層下の項目内容メニューに移動し、ツマミを回して項目内容を変更します。

(5)設定を保存する場合はENTERボタンを押します。また、変更をキャンセルする場合は、MENUボタンを押すことにより設定値は変更前の値に戻ります。(ENTERまたはMENUボタンを押すとメニューは一つ前の階層に戻ります。)

(6)更に他項目の設定を行う場合は(2)～(5)を繰り返し行います。

(7)終了する場合はMENUボタンを押します。メニューモードが終了し、表示器とオンスクリーンの表示が消えます。

## 2. メニューツリー

<b>MENU</b>		「MENU」	…「MENU」を押して設定メニューに入ります。※1
├──	3,4CH AUDIO OUT SELECT	「ASEL」	…3,4CH コネクターに出力するオーディオを選択します。
│	├── 1,2CH	「1,2」	
│	└── 3,4CH	「3,4」	
├──	CHARACTER	「CHAR」	…キャラクター表示を設定します。
│	├── CHAR ON/OFF	「C ON」	…キャラクター表示を ON/OFF します。
│	│	├── ON	「●」
│	│	└── OFF	「-」
│	├── CHAR SELECT	「CH」	…キャラクターの選択をします。
│	│	├── 6桁目	「1~0A~z-/」
│	│	├── 5桁目	「1~0A~z-/」
│	│	├── 4桁目	「1~0A~z-/」
│	│	├── 3桁目	「1~0A~z-/」
│	│	├── 2桁目	「1~0A~z-/」
│	│	└── 1桁目	「1~0A~z-/」
│	├── SIZE SELECT	「SS」	…キャラクターの大きさを設定します。
│	│	├── 20×26	「SS20」
│	│	└── 40×52	「SS40」
│	├── POSITION H	「PO H」	…H ポジション設定 ±360ドット
│	│	└── ±360	「-360~360」
│	├── POSITION V	「PO V」	…V ポジション設定 ±242ライン
│	│	└── ±242	「-242~242」
│	├── BLINK	「BLNK」	…ブリンクの ON/OFF を設定します。
│	│	├── ON	「●」
│	│	└── OFF	「-」
│	├── PLATE	「PLAT」	…プレートの ON/OFF を設定します。
│	│	├── ON	「●」
│	│	└── OFF	「-」
├──	REFERENCE	「REF」	…リファレンスの分配機能の設定をします。
│	├── LINE DIRECT	「LDIR」	…D1 IN 信号をリファレンス信号として使用します。
│	├── LINE MASTER	「LMST」	…D1 IN 信号をリファレンス信号とし、SUB 設定のモジュールに分配します。
│	├── EXT DIRECT	「EDIR」	…REF IN 信号をリファレンス信号として使用します。
│	├── EXT MASTER	「EMST」	…REF IN 信号をリファレンス信号とし、SUB 設定のモジュールに分配します。
│	└── EXT SUB	「ESUB」	…MASTER 設定のモジュールからリファレンス信号を受信します。
└──	DIP SW	「DSW」	…ディップスイッチの設定状態を表示します。※2

「 」内はメインモジュール正面の表示器を示します。

※1 オンスクリーンメニューを表示する場合は「MENU」を2秒間押し続けます。

※2 表示器にはディップスイッチの状態は表示されません。オンスクリーンメニューのみになります。

表4-1 メニューツリー

### 3. メニュー一覧

#### (1) 3,4CH AUDIO OUT SELECT

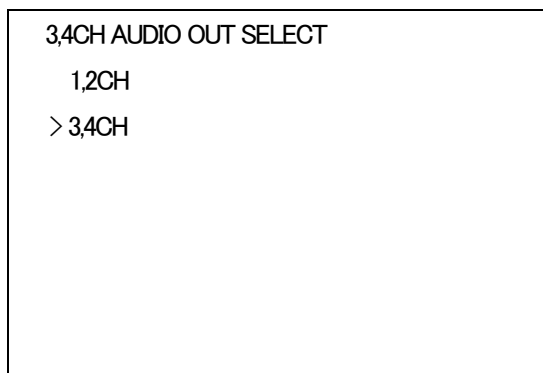


図4-2 オンスクリーンメニュー(3,4CH AUDIO OUT SELECT例)

オーディオの 3, 4CH コネクターに出力するチャンネルを設定します。

- 1) メインメニューで「3,4CH AUDIO OUT SELECT」を選択し、**ENTER** ボタンを押すと図4-2のような設定メニューが表示されます。
- 2) ツマミを回して「1,2CH」か「3,4CH」を設定し、**ENTER** ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU** ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3) メインメニューに戻ります。

#### (2) CHARACTER

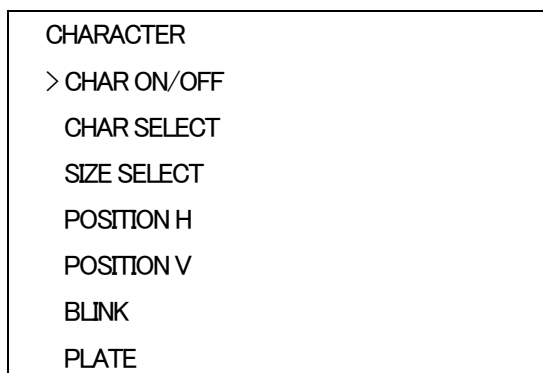


図4-3 オンスクリーンメニュー(CHARACTER例)

キャラクターの設定をします。

- 1) メインメニューで「CHARACTER」を選択し、**ENTER** ボタンを押すと図4-3のような設定メニューが表示されます。
- 2) ツマミを回して変更項目を設定し、**ENTER** ボタンを押して設定項目メニュー階層下の項目内容メニューに入ります。
- 3) **MENU** ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

### (3)CHAR ON/OFF

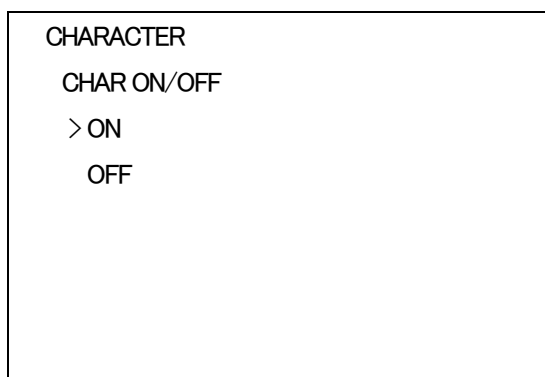


図4-4 オンスクリーンメニュー(CHARA ON/OFF例)

キャラクターの ON/OFF を設定します。

- 1)キャラクターメニューで「CHARA ON/OFF」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-4のような設定メニューが表示されます。
- 2)ツマミを回して「ON」か「OFF」を選択し、**ENTER**ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU**ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3)キャラクターメニューに戻ります。

### (4)CHAR SELECT

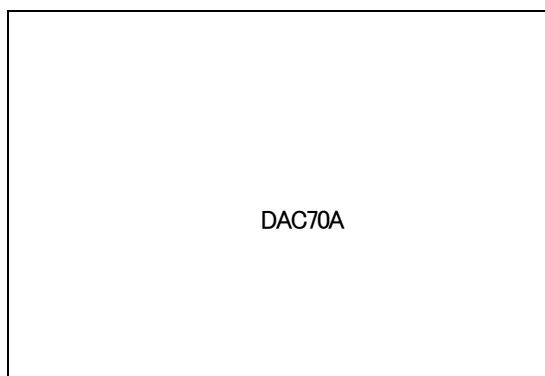


図4-5 オンスクリーンメニュー(CHARA SELECT例)

キャラクターの選択をします。

- 1)キャラクターメニューで「CHARA SELECT」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-5のような表示になります。
- 2)ツマミを回して文字(※1)を選択し、**ENTER**ボタンを押して決定します。
- 3)次の表示を2)と同様に決定します。6文字目まで同じ操作を繰り返します。
- 4)全ての文字を決定し終わったら、**MENU**ボタンを押します。
- 5)キャラクターメニューに戻ります。

※1 選択できる文字は、1～0の数字、A～zの大文字と小文字のアルファベット、-、/、スペースです。

#### (5) SIZE SELECT

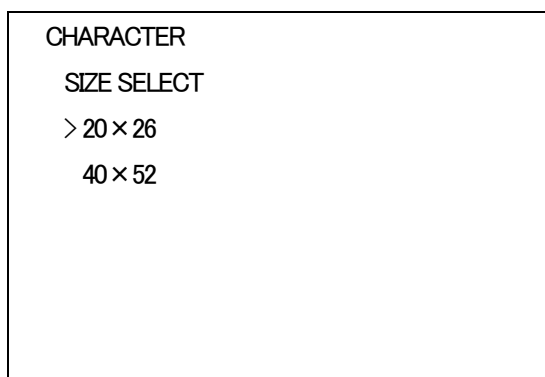


図4-6 オンスクリーンメニュー(SIZE SELECT例)

キャラクターのサイズを設定します。

- 1) キャラクターメニューで「SIZE SELECT」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-6のような設定メニューが表示されます。
- 2) ツマミを回して「20 x 26」か「40 x 52」を選択し、**ENTER**ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU**ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3) キャラクターメニューに戻ります。

#### (6) POSITION H

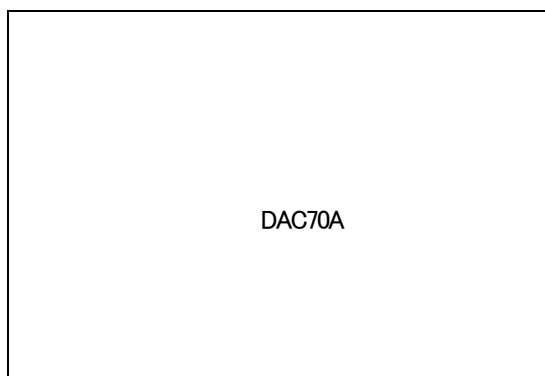


図4-7 オンスクリーンメニュー(POSITION H例)

キャラクターのHポジションを設定します。

- 1) キャラクターメニューで「POSITION H」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-7のような表示になります。
- 2) ツマミを回してキャラクターのHポジションを設定し、**ENTER**ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU**ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3) キャラクターメニューに戻ります。



## (7) POSITION V

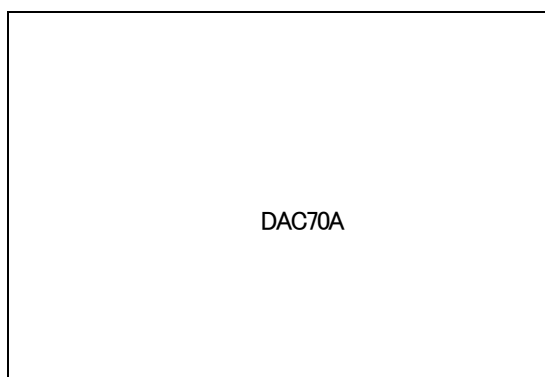


図4-8 オンスクリーンメニュー (POSITION V例)

キャラクターのVポジションを設定します。

- 1) キャラクターメニューで「POSITION V」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-8のような表示になります。
- 2) ツマミを回してキャラクターのVポジションを設定し、**ENTER**ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU**ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3) キャラクターメニューに戻ります。

## (8) BLINK

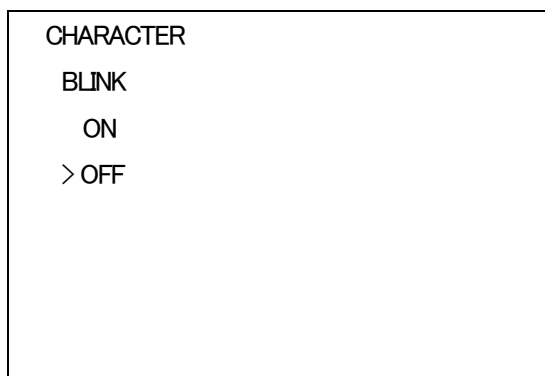


図4-9 オンスクリーンメニュー (BLINK例)

キャラクターの点滅を設定します。

- 1) キャラクターメニューで「BLINK」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-9のような設定メニューが表示されます。
- 2) ツマミを回して「ON」か「OFF」を選択し、**ENTER**ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU**ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3) キャラクターメニューに戻ります。

(9) PLATE

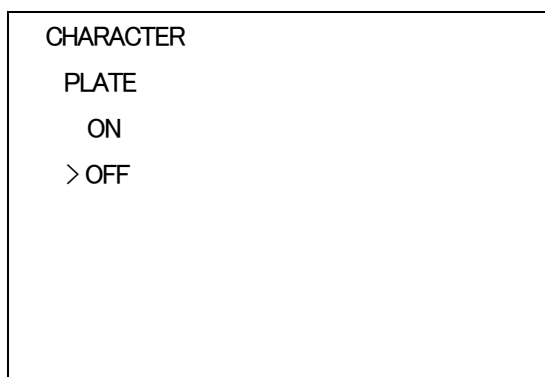


図4-10 オンスクリーンメニュー(PLATE例)

キャラクターのプレートを設定します。

- 1) キャラクターメニューで「PLATE」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-10のような設定メニューが表示されます。
- 2) ツマミを回して「ON」か「OFF」を選択し、**ENTER**ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU**ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3) キャラクターメニューに戻ります。

(10) REFERENCE

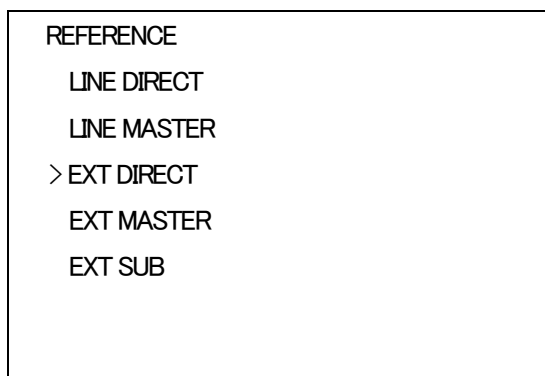


図4-11 オンスクリーンメニュー(REFERENCE例)

LINE DIRECT	D1 IN 信号をリファレンス信号として使用します。
LINE MASTER	D1 IN 信号をリファレンス信号とし、SUB 設定のモジュールに分配します。※1
EXT DIRECT	REF IN 信号をリファレンス信号として使用します。
EXT MASTER	REF IN 信号をリファレンス信号とし、SUB 設定のモジュールに分配します。※1
EXT SUB	同一筐体内の MASTER 設定のモジュールからリファレンス信号を受信します。

リファレンスの分配機能の設定をします。

- 1) メインメニューで「REFERENCE」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-11のような設定メニューが表示されます。
- 2) ツマミを回して変更項目を設定し、**ENTER**ボタンを押して設定を決定します。  
設定を決定する前に**MENU**ボタンを押すと設定は変更前の状態に戻ります。
- 3) メインメニューに戻ります。

※1 同一筐体内に、他のコントローラ系モジュール(TLG-70C、VT-70C、及び SHC-70HD、FS-70HD/SD 等のリファレンス信号分配機能を使用した時)が存在する場合はこの機能を使用できません。同期をマスターに設定できるモジュールは筐体内に 1 モジュールだけです。

(11) DIP SW

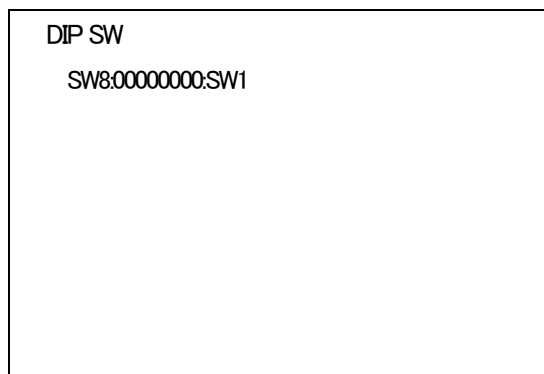


図4-12 オンスクリーンメニュー(DIP SW例)

ディップスイッチの設定状態を表示します。

- 1) メインメニューで「DIP SW」を選択し、**ENTER**ボタンを押すと図4-12のような表示になります。
- 2) **MENU**ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

## 5. 外部インターフェース

### AUDIO 出力端子

アナログオーディオ信号を出力します。

ピン番号	信号	機能
1	CH1+	HOT
2	CH1-	COLD
3	GND	GND
4	CH2+	HOT
5	CH2-	COLD
6	GND	GND

表5-1 CH1,CH2コネクタ

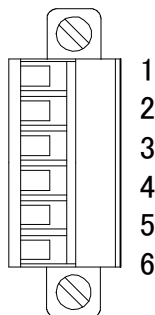


図5-1 コネクタモジュールから見たピン番号

ピン番号	信号	機能
1	CH3+	HOT
2	CH3-	COLD
3	GND	GND
4	CH4+	HOT
5	CH4-	COLD
6	GND	GND

表5-2 CH3,CH4コネクタ

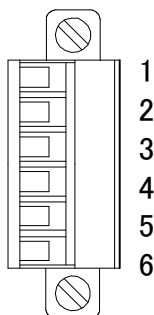


図5-2 コネクタモジュールから見たピン番号

適合コネクタ 型番:MC1.5/6-STF-3.5(メーカー:Phoenix Contact)

挿入電線径 0.14~1.5mm<sup>2</sup>(AWG28~16)

## 6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の>は対処方法を示しています。)

筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

**現象** 電源が入らない！

**原因**

- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
- ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？
- ・筐体のヒューズは切れていませんか？

>もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へ問い合わせください。

**現象** まったく動作しない！

**原因**

- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
- ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？
- ・筐体のヒューズは切れていませんか？

>もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へ問い合わせください。

- ・メインモジュール(基板)は正しく挿入されていますか？

**現象** 映像がまったく出力されない！

**原因**

- ・SD-SDI信号が正しく入力されていますか？
- ・コネクタモジュールはDAC-70A-A用ですか？
- ・出力はモニターに正しく接続されていますか？
- ・入力ケーブルがREF INコネクタ側につながっていませんか？

>P-3「3各部の名称と働き」を参考にして、コネクタとケーブルが正確に接続されているかご確認ください。

**現象** 映像の同期が外れている！

**原因**

- ・D1信号とリファレンス信号は同期していますか？

>同期した信号を使用してください。または、REFERENCEの設定をLDIRIに設定してください。

- ・D1信号とリファレンス信号の同期が1H以上離れていませんか？

>本機のAVDLは-62mS~+500 $\mu$ sの範囲です。この範囲で同期している信号を使用してください。

**現象** 音声まったく出力されない！

**原因**

- ・エンベデッドオーディオの付加されたD1信号が正しく入力されていますか？
- ・コネクタモジュールはDAC-70A-A用ですか？
- ・入力ケーブルがREF INコネクタ側につながっていませんか？

>P-4「3各部の名称と働き」を参考にして、コネクタとケーブルが正確に接続されているかご確認ください。

**現象** 音声のレベルが合わない！

**原因**

・接続機器の入力インピーダンスは600Ωですか？本機は600Ω出力です。

・標準動作レベルの選択が間違っていないですか？

＞P-3「3.各部の名称と働き」を参考にして設定してください。

**現象** 音声にノイズがのる！

**原因**

・D1信号とリファレンス信号は同期していますか？

＞同期した信号を使用してください。または、REFERENCEの設定をLDIRIに設定してください。

・D1信号とリファレンス信号の同期が1H以上離れていませんか？

＞本機のAVDLは-62ms～+500μsの範囲です。この範囲で同期している信号を使用してください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

## 7. 仕様

### 1. 定格

#### 入力信号

・ D1 IN	SMPTE 259M-C準拠、0.8V <sub>p-p</sub> /75Ω、BNC 1系統
・ REF IN	BBS、0.43V <sub>p-p</sub> /75Ω、BNC 1系統

#### 出力信号

・ AUDIO OUT CH1, CH2, CH3, CH4	600Ω 平衡、6極着脱式ターミナル 各1系統
・ NTSC OUT 1, 2	VBS、1V <sub>p-p</sub> /75Ω、BNC 各1系統

動作温度・動作湿度 0~40°C・20~80%RH(ただし結露なき事)

消費電力 12VA (5V,2.4A)

### 2. 性能

#### 入力特性

・ D1 IN	
分解能	10bit
サンプリング周波数	13.5MHz
イコライザー特性	300m/5C2V
反射減衰量	5 MHz~270MHz、15 dB以上

#### 出力特性

##### ・ NTSC OUT

分解能	10bit
サンプリング周波数	27MHz
出力遅延	約4.2μs
AVDL	-62μs~+500μs
周波数特性	50Hz~4.2MHz: +0.2dB 以内、4.2MHz~5MHz: -2dB 以内
DG	±0.8%
DP	±0.5° 以内
サグ	H: 0.1%以内、V: 1%以内
S/N	52dB

##### ・ AUDIO OUT

分解能	20bit レベル A,B,C のみ対応
サンプリング周波数	48kHz
標準動作レベル(SOL)	0dBm/+4dBm
最大信号レベル(MSL)	+20dBm
周波数特性	0dBm、20Hz~20kHzにて 0~-0.7dB 以内
歪特性	0dBmにて 0.1%以下 ※1 +20dBmにて 1%以下 ※1
S/N	70dB 以上 ※1
クロストーク(LRチャンネル間)	100Hz~7.5kHzにて65dB以上 ※1
ディエンファシス	50/15μs

※1 測定条件: SOL0dBmにて 22~22kHz のフィルターを使用

### 3. 機能

#### キャラクター表示

・キャラクター文字	英数字
・キャラクター大きさ	20×26、40×52
・ポジション移動	H ±360ドット、1ドット単位(センター基準) V ±242ライン、2ライン単位(センター基準)
・ブリンク	文字列全体ブリンク
・プレート	ON/OFF
・プレート色	黒色

#### D1 IN表示

消灯 :D1入力無し  
橙色点灯:LINE DIRECT、LINE MASTER設定で、ロックしていない  
緑色点灯:D1入力有り

#### D1 IN表示

消灯 :D1入力無し  
緑色点灯:D1入力有り

#### EXT REF表示

橙色点滅:REF入力無し  
橙色点灯:REF入力があり、ロックしていない  
緑色点灯:REF入力があり、ロックしている

#### リファレンス分配機能

REF信号を、内部バス経由で同一筐体内の他のモジュールへ分配することができます。

#### オプションプランキング

10H~19Hの映像をスルーさせることができます。

#### オーディオ出力切り替え

3,4CH出力へ1,2CH音声を切り替えて出力できます。

#### オーディオ動作レベル選択

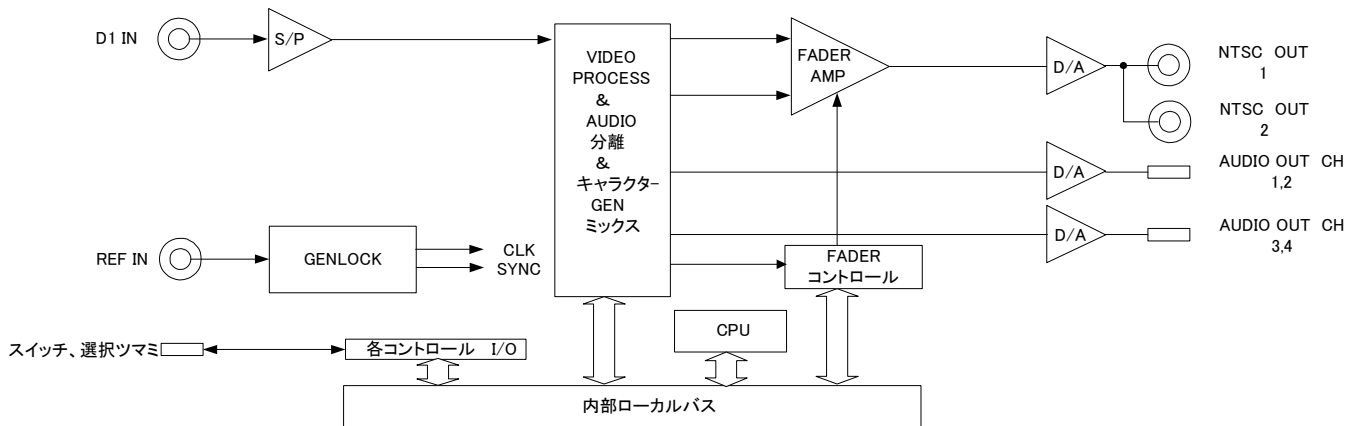
0dBm/+4dBmの選択ができます。

#### オンスクリーンメニュー

ON/OFF



## 8. ブロック図





御使用各位 殿

**ビデオトロン株式会社**  
製造技術部

**緊急時の連絡先について**

日頃は、当社の製品をご使用賜りまして誠にありがとうございます。  
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ  
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

**ビデオトロン株式会社** 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30～17:00

e-mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

## 無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。